

発議案第40号

新川周辺の文化・スポーツ施設利用者に寄り添った施策の実施を求める
決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出し
ます。

平成29年12月18日

八千代市議会議長 成 田 忠 志 様

提出者	八千代市議会議員	木 下 映 実
賛成者	八千代市議会議員	西 村 幸 吉
	同	林 隆 文
	同	山 口 勇
	同	堀 口 明 子
	同	原 弘 志

提案理由

市長に対し、新川周辺の文化・スポーツ施設利用者に寄り添った施策を早急に実施することを再び強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

新川周辺の文化・スポーツ施設利用者に寄り添った施策の実施を求める
決議

中央図書館・市民ギャラリーに隣接する県立八千代広域公園駐車場は、平成27年4月の供用開始当初から、4時間300円、無料時間の設定なしという料金体系となっており、市民からは、かねてから無料時間の設定を求める多くの声がある。

こうした声を受け、議会は市長に対し、県との協議を積極的に行うよう、平成27年6月及び平成28年6月の2度にわたり全会一致の決議を行ったにもかかわらず、市長は、中央図書館開館から2年以上経過する現在まで、施設利用者の利便性に配慮した具体的な対策を何ら講じてこなかった。

今年5月に市長が交代し、以上の経緯を踏まえた対応がなされるものと期待していたが、8月に急遽、議員説明会が開催され、市長は、これまで長期にわたり行ってきた県との協議を白紙撤回し、駐車場利用者に対する無料時間設定は困難であるとの方針転換を行った旨の説明を一方的にし、その場での質問も受け付けなかった。

また、代替案として、送迎バスの運行を検討したいと言いながら、運行に要する経費の試算はおろかその打ち合わせすら行っておらず、施設利用者の利便性向上に向けた検討が進んでいるとは到底言えない状況である。

このことから、市長に対し、新川周辺の文化・スポーツ施設利用者に寄り添った施策を早急に実施するため、当初議会が全会一致で議決したとおり、早期に無料時間の設定（総合生涯学習プラザと同様）をするよう再び強く求める。

以上、決議する。

平成29年12月22日

八千代市議会